

## 計画の位置づけ

総合計画は、市政運営における最上位の計画として位置づけるとともに、市民・各種団体・事業者・行政が協働してまちづくりを進めていくための方向性を示す基本的な指針となるものです。

## まちづくりの3つの視点

これからのまちづくりは、次の3つの視点を持って進めていきます。

### 人口減少抑制 の視点

将来的な人口の減少は避けられませんが、赤穂市としての市政運営を安定的・持続的なものとするために、人口減少の抑制を図るとともに、少子高齢化に適切に対応できるまちづくりの方向性が重要です。

### 地域共生社会 構築の視点

将来的な人口構造等の変化を踏まえながら、官民を問わず、サービスの“支え手”“受け手”といった関係を超え、市民や地域の多様な主体が参画しつながることで、一人ひとりの暮らしと生きがい、地域を共に創っていく社会（地域共生社会）の実現を目指すまちづくりの方向性が重要です。

### 地域活性化 の視点

自然や歴史・文化・伝統など地域の特性を踏まえた経済の活性化、雇用機会の創出を図り、また、次世代を見据えたAIやIoTなどの活用により、将来にわたって人が集い、にぎわいをもたらすようなまちづくりの方向性が重要です。

## 2030年(令和12年)に向けた赤穂市の将来像

赤穂市の特徴や今後のまちづくりのビジョンとして、市民の皆さまの意向を将来像に込めました。この将来像の実現に向け、さまざまな取組を進めていきます。

将来像  
(まちづくりビジョン)

自然と歴史に育まれ  
笑顔と希望あふれる  
活力のあるまち

### ～自然と歴史に育まれ～

- 瀬戸内海国立公園の美しい海岸線、名水百選にも選ばれた清流千種川、時を超えて語り継がれる赤穂義士、日本遺産に認定された赤穂の塩・北前船寄港地のストーリー、古代ロマンあふれる有年の遺跡など、誰もが癒され、楽しめる本市の多様な自然・歴史資源を大切にするとともに、これら地域資源を活用しながら、次世代へ継承していきます。

### ～笑顔と希望あふれる～

- 市民の誰もが、将来にわたって、自分らしく、生きがいをもって心地よく暮らせる、笑顔と希望があふれるまちを目指します。
- ひとりの笑顔がみんなの笑顔につながる共生のまちづくりを進めます。

### ～活力のあるまち～

- 市民の誰もが、元気いっぱい活躍している姿の実現と、赤穂の魅力の発信による交流や産業の振興によるにぎわいのあるまちを目指します。